



厚生労働省福島労働局発表
令和元年8月20日(火)

担 当	【照会先】
	福島労働局職業安定部職業安定課
	課長 廣谷 俊一
	課長補佐 安田 寿夫
	地方職業安定監察官 佐藤 康昌
TEL 024(529)5578 FAX 024(536)4200	

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価に係る 平成30年度総合評価の結果

福島労働局（局長 岩瀬信也）は、ハローワークの求人・求職のマッチング機能の一層の強化を図るため、平成30年度に実施した総合評価の結果をとりまとめました。

総合評価は、従来のPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、マッチング機能の総合評価を行うことで、ハローワークの業務改善につなげ、更なる機能強化を図ることとしております。このため、労働市場の状況や業務量、体制が同じような全国のハローワークで11のグループを作り、その中で比較・評価を行うもので、年度当初にマッチング機能に関する数値目標を設定し、翌年度に業務の評価・改善を行うものであります。（別添1、2参照）

今般、平成30年度の評価結果が下記のとおりとなりましたので、各ハローワークの就職支援業務報告と併せて公表いたします。

記

総合評価の結果

① 「良好な成果」（評価類型2）

福島所、いわき所、会津若松所、須賀川所、相双所

② 「標準的な成果」（評価類型3）

郡山所、白河所、二本松所

参考

評価類型1：非常に良好な成果

評価類型2：良好な成果

評価類型3：標準的な成果

評価類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

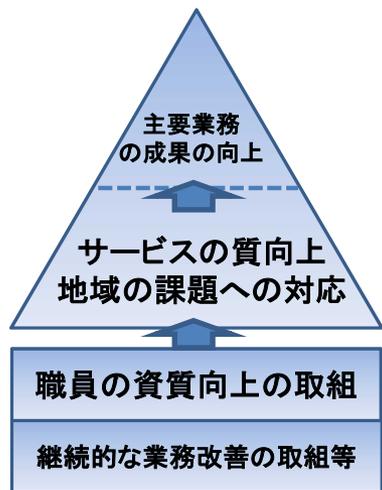
ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

別添1

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を設定している。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進するような評価小目を設定している。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③好事例は全国展開（評価期間終了後）

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標・所重点項目は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択して実施

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査(求人者・求職者)
- 紹介率(求人・求職者に対する)

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講 など

令和元年度

総合評価の決定(平成30年度内容分)に係る
就職支援業務報告



福島労働局職業安定部

平成30年度ハローワークのマッチング機能に関する業務実績

【マッチング機能に関する中核的な指標】(主要指標)

	労働局計	福島	いわき	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松
就職件数 (常用)	30,898件	5,743件	5,930件	4,817件	5,678件	2,172件	2,305件	2,689件	1,564件
充足件数 (常用)	29,653件	5,536件	5,567件	4,564件	5,618件	2,065件	2,046件	2,746件	1,511件
雇用保険受給者の早期再就職件数	8,450件	1,582件	1,660件	1,159件	1,713件	590件	667件	594件	485件

※就職件数 ハローワークの紹介により常用就職した件数

充足件数 ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数

雇用保険受給者の早期再就職件数 雇用保険基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して就職した件数

ハローワーク福島 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

主要指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を重視する中で、マッチングを意識した取組みを進め、求職者担当制・求人担当制の実施、求人充足会議の開催、人材不足分野の企業説明会及びミニ面接会等を実施した。

中でも職業相談時において、プラス1サービスとして、求職者の希望に近い労働条件、就職及び定着が図れる可能性が高い求人を提案し、能動的マッチングにより紹介につなげる取組を積極的に行った。

また、雇用保険受給者に対し、「初回講習会」の内容（ハローワークの支援メニューや再就職手当等の説明）の充実や、給付制限中の来所勧奨相談、失業認定日（ハローワークにおいて失業状態の確認をする日）における全員職業相談等、早期再就職につながる支援を行った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の資質向上を図る観点から、各種研修（ハローワークのマッチング機能の総合評価に係る研修、職業紹介に係る助成金研修、雇用保険給付制度に係る研修、労働基準監督官による労働関係法研修）を実施した。また、キャリアコンサルティング研修への積極的な送り出しを行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 潜在的な利用者の開拓を図るため、管内の地方自治体及び道の駅等に月2回、求人情報等を配架することとした。
- ・ もうひと押しすることで充足が見込まれる求人については、『『私の会社』求人プロジェクト』として、求人票に会社写真やコメント等を加えて掲示板等に公開し、求職者に求人事業所の具体的なイメージがより伝わるよう工夫を凝らした。
- ・ 雇用保険受給者の早期再就職を促進するため、初回失業認定日における職業相談時に、雇用保険受給者一人ひとりの再就職手当支給額の試算を行い提供した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 求職者が減少傾向にある中で、ハローワークの利用方法を十分に知らない求職者が依然相当数いると思われることから、今後も潜在的な求職者に対して、ハローワークの支援メニューの紹介や求人情報の配架先を拡大し、積極的にアプローチを行いたい。また、窓口支援が必要な求職者に対しては、職業相談技法の向上を図りながら、よりきめ細かい職業相談を行うよう取り組みたい。

- ・ 求職者が全体的に減少している中で、高年齢求職者が増加している。これら高年齢求職者の求職活動が長期化しているため、生涯現役支援窓口を中心に、高年齢者専用求人確保や、高年齢者用求人情報（シニア求人情報）の提供、ミニ面接会の実施等を通じて、高年齢者の再就職支援を強化していきたい。
- ・ 人材不足分野における対策として、人材サービスコーナー（福祉・建設・警備・運輸）におけるイベント（見学や体験も含めた企業説明会、ミニ面接会等）の開催により、求人充足の強化を図ってきたい。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ ハローワークと地方自治体が連携を強化することにより、若者の地元就職や定着、企業誘致における人材確保、移住定住対策、ワークライフバランスの実現などを一体となって取組むことで、地域のニーズに即した雇用対策をより一層推進することができる。(平成31年2月15日 伊達市と福島労働局との雇用対策協定締結)

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等 の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーターの 支援による 正社員 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついたフリー ター等の件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	5,743	5,536	1,582	78.8%	93.1%	22.6%	22.0%	283	267	906	1,387	93.2%	15,339	2,809
目標	5,656	5,447	1,531	90.0%	90.0%	24.0%	22.4%	214	251	639	1,076	92.1%	16,463	2,745
目標達成率	101%	101%	103%	—	—	94%	98%	132%	106%	141%	128%	101%	93%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークいわき 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職・充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当者制の推進、マッチングによる求人情報の提供、プラス2サービス（応募する求人がなかった場合でも新たな求人の提案を行う等）の徹底、求人充足会議や未充足求人フォローアップ会議で選定した求人に対する早期充足に向けた求人担当者制によるマッチングからフォローアップまでの支援の充実を図った。

また、人手不足解消のため、人手不足分野（介護、看護、保育等）を対象とした自治体等との共催による「タイアップ型就職面接会」（企業説明会）を開催した。

この他、正社員求人の拡大を図るため、ハローワーク、いわき市、福島県いわき地方振興局、福島県教育庁いわき教育事務所、労働基準監督署の5機関による正社員等拡大要請を実施した。

さらに、求職者が応募する仕事への理解を深められるよう事業所画像情報の収集と事業所情報コーナーへの画像情報（A4の拡大版）の掲示を積極的に推進した。事業所情報コーナーについては、求人者・求職者ともに好評を得ている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

マッチング力向上を図ることを目的として取り組んできた「マッチング力向上作戦」について、取り組みをさらに充実・強化するために、プラス2サービスの徹底など、取り組み内容のポイントを絞り込み、「マッチング力向上作戦2018」として実施した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

いわき市、関係機関・団体等とも連携した「タイアップ型就職面接会」（企業説明会）を3回開催し、企業26社・95名の参加があったが、参加状況に偏りが見られたため、他のハローワークの取組なども参考により多く参加していただけるよう改善を図ることとする。

また、令和元年度においては、新たに運輸分野で業界団体と連携し開催する予定である。

（4）その他業務運営についての分析等

若年労働者の確保については、地域の最重要課題であり、特に中小企業等における人材確保については重点的に取り組んでいく。このため新規高卒者の地元定着を促進するためのイベントを積極的に開催していく予定である。

また、UIJターンの取組については、自治体の移住者支援と積極的に連携しながら促進していく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等 の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員 就職件数	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついたフ リーター等 の件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口で 65歳以上 の 就職件数
実績	5,930	5,567	1,660	85.9%	96.7%	19.8%	21.9%	173	368	1,254	95.3%	18,778	3,327	90
目標	5,991	5,420	1,562	90.0%	90.0%	20.3%	23.1%	123	364	831	92.1%	20,647	3,368	62
目標達成率	98%	102%	106%	—	—	97%	94%	140%	101%	150%	103%	90%	98%	145%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク会津若松 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

目標達成のため、全ての項目について前年度の取組を検証した。特に、求人票および求職票の完全記載と記載内容の充実など基本業務の徹底を図り、ピックアップ求人情報（※1）作成、グレードアップ求人（※2）掲示、併せて求人票とともに事業所紹介画像の掲示を行った。また、人材不足分野の業種対策として、ミニ面接会を定期的実施した。

今回、特に求職者担当者制を中心に個別支援の強化を図り積極的なマッチングに努めた。さらに、求人充足会議において、求人内容の条件緩和や記載について、詳細に検討しその結果を事業所訪問時に説明、助言することでわかりやすい求人票記載や条件緩和に努めた。結果、ミニ面接会や事業所訪問についての取組は、事業所から理解していただき良い評価を受けることができた。

※1 ピックアップ求人情報・・・正社員に特化した求人情報誌

※2 グレードアップ求人・・・ハローワークの助言等により、求人の要件を緩和したり、条件をアップしてもらった求人に対しては、その充足率を高めるため、所内入り口の目につきやすい場所に掲示板を設置し求人票を掲示、条件がアップしたことを強調し、求職者の応募意欲を喚起するもの

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

P D C Aに関する目標値の進捗状況を毎月幹部職員会議で検証し、業務改善や取組強化について検討を実施した。

また、定期的に業務日報による就職数・充足数・進捗状況を全職員へ回覧し、それぞれの数値状況を把握しながら業務を進めることができた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

古く狭隘な庁舎などでありながら、求職者に対する事業所情報提供や様々なイベント情報提供について、来所者の目につくよう工夫しながら実施するなどソフトの面で改善を図った。また、利用者に満足していただけるよう接遇の向上についても、必要に応じ研修を実施し職員、相談員に徹底させた。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取り組みについて

新規求職者が減少する中で、求職者に対しての詳細な事業所情報の提供、求人者に対する事業所訪問による緩和指導等は、効果的なマッチングに不可欠な取組であるため継続的に実施していくこととしている。その取組の一部として、ミニ面接会と併せて、ミニ面接会よ

り求人者との接触しやすい求人説明会（当所では「お仕事1UP（企業理解）説明会」としている）を実施することとしている。

(4) その他業務運営についての分析等

労働力を他地域から確保することについては、通勤等の問題から困難な状況にある。さらに新規求職者の約半数が45歳以上であることから求人者と求職者の効果的なマッチングには苦慮している状況である。そのような中で、詳細な事業所情報の提供や地域労働市場の特性を説明した中での求人条件の緩和が必要となる。今後は、担当者制の強化や前述した「お仕事1UP（企業理解）説明会」を活用した能動的なマッチングに努め就職数、充足数の増加に努めていく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による 就職支援を 受けた 重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	4,817	4,564	1,159	79.6%	93.3%	23.0%	24.6%	164	227	94.7%	9,135	2,247
目標	4,702	4,375	1,076	90.0%	90.0%	22.7%	24.8	123	214	92.1%	10,111	2,160
目標達成率	102%	104%	107%	—	—	101%	99%	133%	106%	102%	90.0%	104%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク郡山 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

管内事業所における人材確保の推進を念頭に、人手不足を少しでも解消するために就職件数並びに求人充足数の目標達成を二本柱に据え、取組を実施した。

特に、平成30年度においては、郡山市と締結した雇用対策協定による各種連携事業に積極的に取り組み、若年者や子育て中の女性、並びに就職困難者（障害者・高齢者・生活保護受給者等）の就職促進を図るなど管内労働力の確保に取り組んだ。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求職者が減少する中で、就職の可能性を高めるための支援を必要とする利用者の割合が増加してきていることから、「職員に対するキャリアコンサルティング研修」・「職業紹介力向上作戦」・「求人充足力向上作戦」等の研修を実施するなど職員のスキルアップを図り、効果的な就職支援を実施できる体制を確立してきた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人の充足促進のために、「業種別求人情報誌PLUS+1」（人手不足職種に特化した求人情報誌）を創刊し、管内地方自治体及びコンビニエンスストアに配付し、広範な情報提供及び新規求職者の掘り起しに取り組んだ。

また、求人者サービス向上への取組として、庁舎内階段スペースを活用した「事業所情報コーナー」を新設した。「事業所情報コーナー」では、「求人票」のほか「事業所社員への突撃インタビュー」や「事業所画像情報」を併せて掲示するなど、求人票記載内容以上の情報提供及びわかりやすい求人情報の提供に取り組んだ。

さらに、求人事業所と求職者との直接面談できる機会を拡充するため、所内レイアウトの見直しを行い、ミニ就職面接会などを実施できるスペースを確保した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少傾向が続く中、潜在的な利用者の開拓及び拡大が、最重要課題であると捉えている。

そのために、求職者の利便性の向上を優先的な取組事項として、駐車場の混雑緩和及び窓口での待ち時間解消等に積極的に取組など速やかに改善を図っていく。

◇ 駐車場の混雑緩和対策 ⇒集团的な説明会やセミナー等の統合による開催回数縮減や外部会場での開催。

- ◇ 窓口待ち時間の解消 ⇒求職者の意向を的確に捉えた効率的・効果的な職業相談及び職業相談終了から次の職業相談開始までの間の効率的な事務処理等によるインターバル時間の縮小。
- ◇ 求人情報誌提供範囲の拡大 ⇒「業種別求人情報誌PLUS+1」の配付先を、東邦銀行の協力を得て管内23支店へ拡大。

(4) その他業務運営についての分析等

① 求人の動向からみた分析等

平成30年度の新規求人数は、前年度との比較で▲3.0%の減少となっている。

これを業種別で見ると、労働者派遣業では前年度比+31.4%と大幅に増加したが、それ以外の多くの業種では減少傾向にある。

今後、この動向を注視しつつ、正社員を主体とした求人の確保や、業種・職種間ミスマッチの解消に取り組んでいく必要があると考えている。

② 求職者の動向からみた分析等

平成30年度の新規求職者数は、前年度との比較で▲2.0%の減少となり、東日本大震災以降減少傾向が続いている状況にある。

また、新規求職者を態様別にみると、在職者と自己都合離職者（転職等の理由）で全体の7割を占めている状況にある。

さらに、55歳以上の高齢求職者の占める割合が、平成24年度の12.5%から平成30年度には24.6%を占めるまでに増加(+7.2P)してきている。

これらの状況を踏まえ、今後は転職希望者と高齢求職者のニーズに即した、さらなる就職支援サービス展開に取り組む必要があると考えている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に 対する 紹介率	求職者に 対する 紹介率	生活保護 受給者等 の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワ ークの職 業紹介に より、正社 員に結び ついたフリ ーター等 の件数	公的訓練 終了3ヶ 月後の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職数
実績	5,678	5,618	1,713	82.1%	93.6%	19.9%	21.7%	214	265	1,278	374	92.4%	20,633	3,112
目標	6,016	6,065	1,709	90.0%	90.0%	20.7%	21.9%	255	262	931	323	92.1%	23,931	3,195
目標達成率	94%	92%	100%	—	—	96%	99%	83%	101%	137%	115%	100%	86%	97%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク白河 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

・ マッチングの強化

求人充足会議において、あと一押しで充足が見込まれる「脈あり求人」を選定のうえ対応策を検討し、職業相談窓口で積極的マッチングにより能動的紹介に努めた。併せて、求人者支援員が開拓した求人についても同様の取り組みを行った。

最新求人から強化求人を選定し、求職者への情報提供に努めた。

・ 双方向性による求職者担当制の実施

求職申し込み後の早い段階での担当制の実施により、早期再就職意欲の喚起をはじめ、求人情報の積極的提供、応募書類の作成指導等により就職促進を図った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 高年齢者の就職促進のため、高年齢者向けの求人情報紙「60歳以上専用求人情報」「高年齢者「応援」求人情報」を新たに作成し所内において配布しているほか、商業施設や公的施設へ配架のうえ活用している。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 潜在的求職者の掘り起し及びハローワークの支援サービスの周知のための方策として、管内市町村との連携により求人情報紙を配架・配布している。また、来所勧奨チラシを作成し、管内市町村の地域回覧板活用による周知を図る。
- ・ ハローワークシステムの刷新（2020年1月～）に伴いハローワークの利用者層を広げるため、利用者本位のサービス提供を行うことやハローワークの支援サービスへのアクセスしやすさの周知を推進する。

（4）その他業務運営についての分析等

- ・ 総合評価の各種取組内容について研修を実施し具体的に説明・指示することで、各自の目標が数値から取り組むことに意識変化が見られる。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者の早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,172	2,065	590	84.7%	94.7%	20.8%	21.9%	53	460	4,926	1,090
目標	2,304	2,155	650	90.0%	90.0%	22.7%	22.8%	43	301	4,958	1,118
目標達成率	94%	95%	90%	—	—	91%	96%	123%	152%	99%	97%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク須賀川 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

求職者の減少傾向が続く中、就職件数（常用）及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成が重要と考え、求職者担当制の実施と情報提供に努めた。特に、雇用保険受給者については認定日（ハローワークにおいて失業状態の確認をする日）に全員職業相談を行うほか給付制限中の受給者の来所を勧奨した。また、機会あるごとに再就職手当制度の周知に努め、早期再就職への意欲を促進するよう働きかけを行った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談スタッフによる紹介成功率を高めるため、個別の実績について2カ月に一度の検証を行うなど、紹介スキル向上に努めた。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

求人票以上の情報提供の充実による就職促進のため、これまで蓄積した事業所画像情報を更新する取り組みを行った。また、当所会議室において求人ミニ説明会を開催することで、求人者へのサービスを拡充した。

このほか、人手不足分野への取り組みとして、介護・看護分野については情報提供、介護の職場見学会、11月には「介護就職デイ」のイベントとしてミニ介護事業所説明会を開催し、新たに建設・運輸・警備分野については三分野に特化した求人情報紙を毎月作成し所内に配置した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成31年4月からの在留資格拡大に伴い、今後、管轄地域内の外国人労働者への対応が想定されるため体制の確保に努める。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員求人については希望者の多い製造業を中心に求人開拓を行ったが、中途採用者の定着が悪いという事業所が多く目標の求人数を受理することができなかった。従業員の高齢化により若年層を検討したいという事業所も多いことから、既卒者等の若年層求職者はほとんどが正社員求人を中心に就職活動を行っている状況を説明し、また、新卒者に限らず中途採用者に対しても研修制度を設けるなど企業による人材育成が定着に繋がるということ、それを求める求職者も多いことを説明しつつ正社員求人の確保に努めたい。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

職業紹介業務の目標に関する共通認識を持つため、年度初めに職員及び相談員に対して、前年度の取組結果と新年度の目標値及び目標値達成に向けての取組についての研修を行ったほか、毎月の個々の業務の進捗状況を管理し、定期的に個別ヒアリングと状況に応じた紹介スキル向上のための研修を行った。

このほか、逐次業務進捗状況を全職員及び相談員が共有する取組で、職員等個々の取るべき行動を後押しすることができたものと考えている。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者の 早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員 に結びついた フリーター等 の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,305	2,046	667	76.5%	94.8%	18.4%	21.4%	85	626	5,592	1,226
目標	2,268	1,881	629	90.0%	90.0%	19.6%	21.8%	43	357	6,217	1,219
目標達成率	101%	108%	106%	—	—	93%	98%	197%	175%	89%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク相双 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

人材不足対策を最重点課題と考え、ハローワーク内を会場とするミニ面接会開催の強化に積極的に取り組み、人材不足分野を中心に本所・出張所合計で年間延べ76回（平成29年度は29回）開催した。

また、南相馬市が主催する看護・介護職の面接会（年間延べ6回）への参画（共催）により人材不足対策への取組も行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

就職を希望する地域住民をハローワークの相談窓口へ誘導して、受理求人とのマッチングを図るため、地元自治体（南相馬市）との連携のもとに、町内会回覧板へ当所の求人情報を添付して回覧することにより、幅広く求人情報及びハローワーク利用の周知・広報を行い、利用の促進・誘導を図った。また、職場定着支援等の観点から、在職中のハローワーク相談利用案内や総合労働相談コーナー等問合せ先を記載した名刺大の「しごと応援カード」を求職者へ配布している。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少等からハローワークの受理求人に対し十分に紹介・充足ができていない状況となっている。より多くの求人充足を図るため、求職者に対し引き続ききめ細やかな相談支援を行うとともに、職業相談時や電話・郵便等を通じて、適合する求人の情報を積極的に提案、提供する働きかけやミニ面接会の継続実施、応募前職場見学を活用した効果的なマッチング等の紹介就職促進に係る取組を行っていく。

（4）その他業務運営についての分析等

東日本大震災後の原発事故等により、地域住民が他の地域に避難し、求職者が激減した状態が続いている一方で、震災後の復興関連需要を背景に求人が急増し、有効求人倍率が2倍台を超えて推移するなど、慢性的な人手不足の状態が続いている中で、より多くの求人充足を図っていくためには、求人者に対しても求職者ニーズに基づいた求人条件の設定や未充足要因の分析に基づく求人内容の見直しなど、適切な提案、助言を行っていく必要がある。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者の早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員雇用に 結びついた フリーター等 の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,689	2,746	594	85.5%	94.1%	19.4%	25.2%	139	571	9,034	1,382
目標	2,681	2,744	643	90.0%	90.0%	21.7%	25.6%	118	272	9,423	1,235
目標達成率	100%	100%	92%	—	—	89%	98%	117%	209%	95%	111%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク二本松 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・ 就職・充足件数の目標達成を最重要と考え、「双方向性の求職者担当制」及び「求人に対する担当者制」を重点的に進め予約相談等の取組を行った。

また、企業の人材確保支援等のため「企業ミニ面接会」を毎月1回（9月は2回開催）開催した。平均参加者が8.5人、うち就職者が28人となった。

- ・ 雇用保険受給者の早期再就職促進を図るため、求職申込時や初回認定日に各種支援メニューの詳細な説明を行い、雇用保険受給が制限中の求職者に対しては、ハローワークへの来所勧奨を行い職業相談時に「再就職手当シミュレーション」の提供を行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 「企業ミニ面接会」開催案内リーフレットを福島労働局ホームページに掲載するなどにより、積極的に参加勧奨を行った。
- ・ 障害を持つ求職者に対するサービス向上のため、求人情報端末で「障害者専用求人」の閲覧を簡単にできるようにした。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 二本松所独自に実施している「ステップアップセミナー」（①応募書類作成コース、②面接対策コース）について、参加者からのアンケートの声を基により成果が表れるよう改善を図る。

また、潜在的な求職者に対するハローワークへの来所勧奨の取組が重要であるため、毎月2回実施（発行）している取組（内容：「ハローワークの情報」、「求人情報」、「イベント情報」）の配架（配架先：二本松駅、ヨークベニマル本宮IC店、セブンイレブン大玉大山店、ウエルシア福島本宮店・二本松安達店、ローソン大玉村大山店、道の駅安達上り・下り）を継続し、配架先の拡大を図る。

さらに、企業ミニ面接会については、参加された企業の皆様から大変好評であったため、実施回数の増加を検討する。

（4）その他業務運営についての分析等

- ・ 平成30年度の正社員求人件数の確保では、目標数5,094件に対し実績4,407件で達成率は86.5%となった。今後は、求人開拓の重点を正社員の求人確保とし、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにする。
- ・ 窓口職員の専門性の確保・向上による職業紹介の技法を高めることが必要と思われるため、キャリアコンサルティング研修の強化に取り組む。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者の早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,564	1,511	485	63.0%	93.1%	21.6%	24.8%	69	4,407	822
目標	1,592	1,652	480	90.0%	90.0%	22.4%	23.6%	43	5,094	773
目標達成率	98%	91%	101%	—	—	96%	105%	160%	86%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率